

4.18 スタートアップ業界のキーパーソンから最新の知見を学ぶ

スタートアップ・カンファレンス「Beyond Limits 2025 Spring」

スタートアップ業界の最前線で活躍する起業家・投資家などキーパーソンが神戸に集い、最新の知見を共有するカンファレンスを開催した。

冒頭、新事業・イノベーション創出委員会の浅野委員長が開会挨拶の中で、地元企業とスタートアップとの連携やイノベーション創出への期待を述べた。

キーノートセッションでは、神戸市出身で国内最大手のクラウドソーシングサービスを展開する㈱クラウドワークスCEOの吉田浩一郎氏が登壇。吉田氏は、「数多くの事業に取り組む中で失敗も経験したが、事業を通じて人の役に

立つことの重要性に気づかされた」「夢を持ち自らの強みに根ざしてリソースを一点集中する、仕組みを作って座組みに入ってもらい。これが実現できれば顧客から支持される」として、株式上場までの実体験や今後の経営戦略について語った。

また、IPO市場のトレンドとEXIT戦略を議論するパネルディスカッションや東京拠点のスタートアップ5社による関西での事業展開に向けたピッチを実施。

その後、今後の連携や共創に向けて企業間のネットワーキングが活発に行われた。



産業部産業振興チーム

5.11 神戸空港の新たな門出を祝う

神戸空港国際チャーター便就航 感謝の集い

兵庫県・神戸市・神戸商工会議所のトップが代表幹事を務める神戸空港利用推進協議会は、関西エアポート神戸㈱とともに「神戸空港国際チャーター便就航 感謝の集い」を開催し、約470名が参加した。

冒頭、久元神戸市長と山谷関西エアポート㈱代表取締役社長CEOが主催者挨拶を行い、久元市長は、「神戸空港国際化で神戸市は国際都市としての新たな可能性を手にした。神戸が関西全体の発展に貢献できるよう全力で取り組む」と決意を述べた。

また、来賓の中野国土交通大臣や松本関西経済連合会会

長、赤羽衆議院議員（与党関西国際空港推進議員連盟会長代理）がそれぞれ祝辞を寄せた。

関西3空港懇談会で座長を務め、神戸空港国際チャーター便就航に向けた議論をリードしてきた松本会長は、「関西に新たな扉が開かれた。神戸空港のスペックを活かし、大阪・関西万博をはじめ、関西で行われる世界的なイベントとの相乗効果を高めていく」と期待を込めた。

乾杯発声は川崎会頭が務め、当日集まった多くの関係者とともに、神戸空港の新たな門出を祝った。



地域政策部

4.23 両国の強みや特色ある産業について意見交換

タイ商業会議所・タイ貿易委員会経済団との懇談



大阪・関西万博を機に、タイと神戸のビジネス交流を促進するため、タイ商業会議所のサナン・アンウボンクン会頭を団長とする経済団が来神し、川崎会頭、伊藤副会頭らと懇談した。

今回の来神は、昨年10月に川崎会頭がトッププロモーションとしてタイを訪問した際にタイ商業会議所を表敬訪問したことをきっかけに実現した。

当日は、医療産業都市など神戸の特色ある産業集積について川崎会頭がプレゼンを行い、ビジネス連携を呼びかけた。タイ側からはスタートアップ企業を中心に国策として取り組む先端産業の紹介があり、活発な意見交換が行われた。

産業部国際チーム

5.13 自社に適した人材戦略を考える

「人的資本経営」実践準備セミナー



ルヴィアコンサルティング㈱共同経営者COOの岡田幸士氏を講師に迎え、人的資本経営の実践に向けたスターター講座（全5回）のキックオフセミナーを開催した。

岡田氏は、「今後の企業経営は単に人を大切にするだけでなく、時代や価値観を踏まえた人材マネジメントの実行が重要になる」と述べ、人的資本経営の概念や自社課題の特定方法、人事戦略のつくり方などを解説した。

参加者からは、「人材育成の意義を痛感し、自社の課題解決に意欲が湧いた」「スターター講座でテーマごとの学びをより深めたい」との声が聞かれた。

会員事業部事業推進チーム

5.13 売上高100億円超を目指す中小企業を支援

中小企業成長加速化補助金説明会



中小企業診断士の藤尾政明氏を講師に迎え、飛躍的な成長を目指す中小企業の設備投資などを支援する「中小企業成長加速化補助金」に関する説明会を開催した。

藤尾氏は、売上高“100億円宣言”をはじめとした補助事業の概要を説明するとともに、審査基準を満たす事業計画の作成方法や加点ポイントなどについて事例を交えて解説した。

参加者からは、「補助要件や審査の観点を知ることによって、申請に必要な準備について具体的に理解できた。ぜひチャレンジしてみたい」との声が寄せられた。

中小企業振興部

5.15 デジタルツールの活用法を学ぶ

成果につながるデジタルマーケティング戦略



SNSやAIを活用して集客・販売力向上を目指すデジタルマーケティングセミナーを開催した。

はじめに、ONiWA㈱代表取締役の稲葉智宏氏は、顧客管理の重要性を説明した上で、顧客への戦略的なアプローチが購買につながると強調。また、㈱PROPO代表取締役の中尾豊氏は、Instagram・TikTokの運用術として再生回数が伸びるアルゴリズム指標などを解説した。最後に、㈱ウェブライダー代表取締役の松尾茂起氏は、ChatGPTを上手く活用するコツは適切な指示の入力だとし、参加者に効果的な入力例を伝えた。

東神戸支部

5.20

淡路島の観光業の活性化策に学ぶ

女性会 通常総会・特別講演会



女性会は、通常総会を開催し、令和6年度事業報告案、令和7年度事業計画案ならびに役員人事案を承認した。

続く特別講演会では、(株)ホテルニューアワジ代表取締役社長の木下学氏を講師に迎え、「旅のチカラで人を元気に、地域を元気に」をテーマに講演を聞いた。木下氏は「街の灯りを消してはならない」を合言葉に、阪神・淡路大震災やコロナ禍でダメージを受けた淡路島の観光業を再生し、活性化してきた取り組みを紹介した。

講演会には当会会員のほか、県内商工会議所の女性会役員も参加し、相互に親睦を深めた。

会員事業部事業推進チーム

5.22

スタートアップ支援拠点と連携したミートアップイベント

Harbor Pitch-SPARK Vol.2



起業プラザひょうご・ANCHOR KOBE・hoops link kobeと共同で、起業や新規事業に挑む人たちが集うミートアップイベントを開催した。

アトピー患者向けの緑茶染めインナーシャツを開発するSkinNote、メタバースでのPRやパフォーマンスを中心とした音楽タレント事務所を運営する(株)STAR Collection、オープンイノベーションプログラムを実施するTOPPAN(株)など11社が登場し、自社の取り組みをアピールした。

ピッチ後は参加者による活発な交流が行われた。

産業部産業振興チーム

5.23

人材確保や働き方改善へ支援を求める

地元建設業並びに関連事業者の振興に関する要望



建設部会は、「地元建設業並びに関連事業者の振興に関する要望」をとりまとめ、神戸市に要望書を提出した。

要望当日は、国井副会頭、今津部会長、岡・山下副部会長が今西副市長ら神戸市幹部と懇談。建設業界の人手不足や働き方改革、建設資材・燃料費の高騰に対応するため、公共工事における工期設定の見直しなど行政による具体的な支援を求めた。

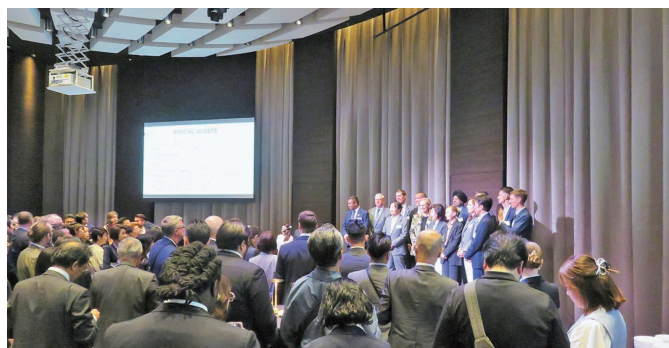
要望書を受け取った今西副市長からは、「公共工事の工期延長はリスクと認識している。業界と協調して効果的な取り組みを進めたい」と前向きな姿勢が示された。

地域政策部

5.28

関西の9つの在日外国商工会議所と交流を深める

Kansai International Meishi Exchange



神戸・大阪商工会議所、並びに関西の9つの在日外国商工会議所は、名刺交換・ネットワークづくりを目的とする交流会をコンラッド大阪で開催した。

当日は、米国・英国・フランス・ドイツなど各国の在日商工会議所の会員が参加。関西のみならず東京など遠方からも駆けつけ、参加者数は200名以上に上った。

当商工会議所からは、伊藤副会頭をはじめ19名が参加。海外展開への足掛かりとすべく自社商品を紹介したり、今後の海外販路拡大に向けてヒアリングを行うなど、活発に交流する姿が見られた。

産業部国際チーム